

**廃止措置研究・人材育成推進事業**  
**中間評価総合所見**

<p>研究課題名：「廃炉に関する基盤研究を通じた創造的人材育成プログラム ―高専間ネットワークを活用した福島からの学際的チャレンジャー―」</p> <p>研究代表者（研究機関名）：佐藤 正知→青柳 克弘（福島工業高等専門学校）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：河原林 順（東京都市大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：秋光 信佳（東京大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：吉田 政弘（東京都立産業技術高等専門学校）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：勝山 幸三（日本原子力研究開発機構）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：高橋 俊行（株式会社タンガロイ）</p> <p>研究期間：平成27年度～平成31年度（5年計画）</p>	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>高専機構は、福島高専を中心として、全国各地の高等専門学校での本科の卒業研究や専攻科の特別研究を通じて廃止措置に関する基盤研究を実施し、研究を通じた人材育成を進める。研究を支える教育プログラムでは、新たにいくつかの講義や実験、人間力を高めるインターンシップを実施する。また、廃炉に関する施設を利用して研究・教育に役立てる。以上の取組を通じて中長期的な観点から高い志と幅広い知識を持った学生を育てることを目的として、以下の研究および人材育成を行う。</p> <p>1) 基盤研究を通じた人材育成</p> <p>2) 教育プログラム</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>原子力分野の学科を持たない学校であるが、廃炉創造ロボコンの実施により学生の廃炉に対する興味・関心を高める努力や、育成した人材を地元企業に就職をさせる取組や、全国の高専を束ねるという難しい挑戦を行っていることは評価できる。</p> <p>一方、研究開発については、総花的な印象となっており、研究テーマの集約や重点化など、メリハリを付けると良い。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 一部を除き、相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p>